

ユネスコ世界記憶遺産登録へ「知覧からの手紙」申請 ～知覧特攻平和会館収蔵資料 333 点（遺書・手紙など）～



2月4日、市は世界記憶遺産登録に向け、知覧特攻平和会館の収蔵資料のうち特攻隊員が家族らに宛てた本人直筆の遺書・手紙など 333 点を「知覧からの手紙」として、国連教育科学文化機関（ユネスコ）に申請しました。知覧特攻平和会館では平成 24 年 6 月に世界記憶遺産登録準備会を立ち上げ、申請物件の選定や申請書の作成、英訳などを行ってきました。世界記憶遺産は 2 年に 1 回の審査受付で 1 カ国 2 件までと制限されており、平成 26 年 6 月頃の登録決定まで審査が行われます。

登録に向けた取り組みの一つとして、市では今回の申請に賛同される方から署名をいただいております。現在約 5 万 8 千人となりました。現在も知覧特攻平和会館ロビーで署名をお願いしています。



知覧からの手紙

遺書（108 点）、遺筆（54 点）、
絶筆（20 点）、手紙（20 点）、
遺詠（30 点）、遺筆集（11 点）、
辞世（7 点）、葉書（39 点）、
寄せ書き（37 点）、鉢巻（2 点）、
日記（5 点）



霜出市長は「二度と悲惨な戦争を起こしてはならない。特攻隊員が家族などに書き残した人生最期のメッセージを全世界に発信し平和の大切さ・命の尊さを語り継ぎたい」と話しました。

川辺二日市・ちらんまち二日市 開催 ～今年も大勢のお客さんでにぎわいました～

2月1日・2日、天候に恵まれた中、「川辺二日市」と「ちらんまち二日市」が開催されました。県内三大市の一つである「川辺二日市」では、恒例のバナナのたたき売りや猿回しなどで会場がにぎわい、楽市楽座の餅つき大会では無料で餅がふるまわれ長い列ができていました。また、「ちらんまち二日市」では、長年交流している平川市のりんごや砺波市の醤油などが地元商店と軒を並べて市を盛り上げていました。

ちらんまち二日市



平川市のりんごや砺波市の醤油も販売



開運合格神社(1月号で紹介)



人にそっくり！
“高田の案山子”



開運・縁結び、茅の輪くぐり

川辺二日市



チンドン行列にお茶むらいも参戦！



厄除け餅つき大会



川辺高校生も大活躍



商店街1.3kmに露店400余が大集合



バナナのたたき売り

★地元の力でいぶたま特別運行！ ～夢たまプロジェクト～

2月4日、観光特急「指宿のたまて箱」号（通称：いぶたま）が指宿～枕崎間を初めて往復運行しました。これは南薩地域の観光を盛り上げたいという地元住民の思いが実ったもので、列車内では茶ぶしやさつまあげなど指宿市・枕崎市・南九州市ならではの特産品が振舞われました。また、各駅では、たくさんの保育園児や地元住民の方が手を振って歓迎していました。



▲西郷駅では郷校生とお茶むらいらがお出迎え。ふくろうのぬいぐるみなどがプレゼントされました。

★NPO法人郷校おこそ会が会長賞受賞 ～観光まちおこしの実績が評価される～

2月7日、鹿児島県コミュニティづくり推進大会が開催され、NPO法人郷校おこそ会が共生・協働型地域コミュニティづくり推進優良団体として最高の会長賞を受賞。同会の特産品事業や観光プロジェクトなど農業の町である郷校の特性に合ったまちおこしが評価されたもので、西村正幸理事長は「会員がやり続けた成果だと思う。これを励みに『地域総力戦のまちづくり』を諸団体、行政と今後もやり続けたい」と話しました。



▲郷校おこそ会の西村正幸理事長（写真中央）、加藤潤さん（写真右）とコミュニティづくり推進大会でパネリストをされた茶寿会の上村亜由美さん。

▼各表彰受賞者。南薩地域植樹祭テーマでは、川辺中学校の門之園一樹さんの「そよ風に ふかれる森は 地球の命」が最優秀賞となりました。



★南薩地域植樹祭 ～桜やスギ、約 400 本植樹～

森林と人とが共生するみどり豊かな地域づくりを推進するため、平成 25 年度南薩地域植樹祭が1月25日に開催されました。知覧文化会館での式典では、森林・林業の功労者や林業技術競技会など各種コンクールでの受賞者への表彰が行われ、式典終了後、知覧町横井場の市有林地内に参加者約 200 人が移動し、桜やスギ、約 400 本を植樹しました。

▼「農事組合法人ハートフル永田」は、南九州市では「（農）どんどんファーム古殿」、「（農）土里夢たかた」に続き3番目となる集落営農法人です。



★農事組合法人ハートフル永田 設立 ～川辺地域 永田地区～

1月23日、『農事組合法人ハートフル永田』の設立総会および記念式典が、永田西研修館に関係者ら約 40 人が集まり盛大に開かれました。代表理事に選任された西次雄さんは「本日設立できたことは地域の皆さんの理解と協力があつてこそ。地域農業を守るため、耕作放棄地解消や環境保全、地域活性化に貢献していきたい」と抱負を話されました。

災害時、福祉避難所設置 ～高齢者・障害者らを福祉施設が受け入れ～

1月20日、災害発生時に福祉施設が高齢者や障害者らの要援護者を避難所として受け入れる協定を、市は川辺地区と指宿地区の老人福祉施設協議会とそれぞれ締結しました。川辺地区の高城満郎代表は「プロの介護集団として、地域に貢献したい」とあいさつし、霜出市長は「介護のノウハウを持つ施設に避難できることは市民の安心安全につながる」と話しました。



▲老人福祉協議会の高城満郎代表(川辺地区、写真左)、井上修一会长(指宿地区、写真右)と霜出市長が協定書に調印しました。

▼結果は10位でしたが、これからも地区民の皆さんの声援に応えられるよう、そしてスポーツの力で地域を元気にできるよう、更なる飛躍を誓いました。



笑顔で襷(たすき)リレー ～鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会～

1月25日・26日、第27回鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会が、霧島市隼人運動場をスタート&ゴールとする6区間 21.0975kmで開催されました。川辺地区チームは、これまで年間を通して練習に取り組み、上位入賞を目指しがんばってきました。レースでは「笑顔で襷をつなごう」をチームの合言葉として選手・スタッフ一丸となりゴールできました。

南九州市推進員表彰式 ～10年以上貢献された方を表彰～

1月23日、知覧保健センターで、南九州市推進員表彰式を行いました。市には現在、健康増進・子育て支援にご協力いただく食生活改善推進員、母子保健推進員、保健推進員が424人います。今回、旧町時代から引き続き10年以上の永きに亘り、市に貢献いただいた61人を表彰しました。長年の活動を振り返り、感激で涙ぐむ方もいらっしゃいました。



▲当日は35人の方が出席され、30年・20年・10年の年数毎の受賞者に、市長より表彰状と副賞の川辺焼が贈呈されました。

▼児童は、北方領土に日本人が1人も住んでいないということに驚くなど、興味深そうに話を聞いていました。



北方領土について知ろう ～知覧小が授業研究会～

2月6日、知覧小学校6年1組で、北方領土教育に関する授業研究会が開催されました。担任の新山崇教諭は、「北方領土についてもっと知ろう」と、地図や写真を使って北方領土の様子やソ連と日本の関係などについて説明しました。授業を受けた児童は「北方領土に住んでいるロシア人に日本の文化を伝え交流していることはいいことだと思った」と話しました。